

復興支援活動の記録

- ・鍼灸マッサージボランティア
- ・平成24年11月3日:福島県本宮市恵向公園内仮設住宅
- 平成24年11月4日::福島県会津若松市錦町町内会館
- ・報告者 陽だまり‘はり・きゅう’治療室 中野朋儀





平成24年11月3日(日)

公園内の紅葉も
色づいていました。





公園内に仮設住宅が
建ち並んでいます。

平成24年11月3日(日)

- 活動場所: 恵向仮設住宅集会所
 - 活動時間: 10:00~16:00
 - 活動人数: 3名
 - 施術者数: 新患11名 再診: 16名
- * 8月19日以来2度目の訪問です。

平成24年11月4日(月)



磐越自動車道から会津磐梯山です。山頂に積雪が見られました。



錦町県職員公舎の中に
町内会館があります。



会館内は、3つ(8畳・30畳・
板の間30畳)のスペースが
あり8畳の和室でお茶会、
30畳のスペースで施術を行
いました。

平成24年11月4日(月)

- ・活動場所:会津若松市錦町町内会館
- ・活動時間:10:00~16:00
- ・活動人数:3名
- ・施術者数:新患30名(大熊町3名・南相馬小高1名)

会津若松市内には、414人の浪江町の方々が生活しています。会津地方なみえ会の65世帯(浪江町民)が借り上げ住宅で生活しています。(5~6カ所目の避難先として落ち着いたそうです)。町内会館は、西若松駅(会津鉄道)から車で5分ぐらいの所にありますが65世帯は市内に点在していて遠くの方は町内会館まで車で20分ぐらいかかるようです。当日、会津地方なみえ会役員の方が車で送迎されていました。皆さんお茶会などで待ち時間を過ごしながら施術を受けられました。自治会長さんのお話では、26年3月末で会津若松市から移転する予定だそうです。同じ福島県でも沿岸部で生活する方が精神的負担も少なく、風土が同じような南相馬市やいわき市などで生活できるようにする計画があるそうです。11月3日から六巡目一時体位入りが始まったそうです。